



医療法人
団 仲会

奥島病院



おくじま通信

Vol.7

2011年
11月

〈理念〉・最善をつくす信頼ある病院 ・献身と寛容の心で行う医療と介護

当院の副院長である中川晃先生の記事が毎日新聞に掲載されました。今回は、掲載された内容の一部をおくじま通信にてご紹介させていただきます。

治療により改善する認知症 【特発性正常圧水頭症】

特発性正常圧水頭症 (iNPH) とは？

まず最初に、『特発性正常圧水頭症』とはどのような病気なのかを説明します。この病気は、脳に水がたまり、歩行障害や認知症、尿失禁などが起こる病気です。これは、手術により治る認知症としても知られております。

そもそも「特発性」とは原因が定かになっていないものをいいます。そして「正常圧水頭症」とは、たまっている髄液の圧力が正常なのに、脳室拡大が起こっている状態です。そして、脳室と呼ばれる脳の中にある部分に髄液が過剰にたまっている状態を「水頭症」といいます。

原因は定かではないが、老化による脳脊髄液の循環障害が背景にあり加齢によって生じる疾患の一つと考えられます。

どの位の患者がいるの？

認知症患者全体に占める『特発性正常圧水頭症』の割合は数%と推測されます。60歳台以降の高齢者に多く、発症年齢は平均75歳前後であり65歳以上の2.9%に特発性水頭症の疑いがあるというデータがあります。

主な症状ってどんなの？

「歩行障害」・「認知障害」・「尿失禁」が三大症状で、「三徴候」と呼ばれます。その中でも、もっとも高い頻度で表れる症状が「歩行障害」であり、続いて「認知障害」と「排尿障害（尿失禁）」の順です。

特に、「歩行障害」には特徴があります。前かがみであり、歩幅が狭く足が上がりずりにすり足で歩く姿が見られます。本人は動こうと思っているのに、一歩目が踏み出せないという「すくみ足」もあります。

次に「認知障害」は、集中できない・ものを考えたり・意思を伝えたりする、物事を決定するという考えのプロセスに時間がかかるなどの注意障害や思考障害が目立ちます。一方で、記憶障害は比較的軽度という特徴もあります。

最後に「排尿障害（尿失禁）」は、頻尿のために尿意を我慢できず、間に合わなくて尿失禁をきたしてしまうというのが特徴です。尿意はあって、頭の中で膀胱に尿がたまっている事は理解できているのに、尿をためておく機能が低下している状態です。

症状は、緩やかに進行するケースが多く、手術により治療可能な認知症です。それだけに的確な診断が必要になります。

診断はどうやってするの？

診断の手順は決まっています。必須項目として以下の4項目があります。

- ①高齢であること（発症するのは60歳代以降である為）
- ②歩行障害・認知障害・排尿障害のいずれかが現れている事
- ③CT(コンピュータ断層撮影装置)などの画像検査で脳室の拡大が確認できること
- ④くも膜下出血とか髄膜炎などの他の疾患が無いこと

これらを満たした場合、脳神経外科や神経内科で次の段階に進みます。

- ①脳脊髄液圧を計って、その数値が正常でCTまたはMRI(磁気共鳴画像化装置)検査で特徴的な所見(脳室の拡大)があること。
- ②髄液排除試験(タップテスト)により、腰から髄液を30cc程度抜いて、それで症状が改善するかどうかを見ます。症状が良くなれば『特発性正常圧水頭症』ですので、治療に入ることになります。

具体的な治療方法ってどんなの？

「シャント術」という手術が唯一の治療法です。脳室あるいは、腰部くも膜下腔と腹腔との間を直径1.5ミリ程度のシリコン製の細い管でつなぎ、過剰にたまった脳脊髄液を腹腔に流すことにより脳の機能を戻す治療法です。また、腹腔に入った脳脊髄液は吸収されます。

この手術は、脳外科で行われる手術の中では危険性の低い手術で、だいたい1~2時間程度で終わります。

「シャント術」後の症状改善率は歩行障害がもっとも顕著です。術後2ヶ月で90%の症例で改善がみられ、1年後に95%が改善します。認知障害も徐々に改善し、一年後の改善率は70%になります。排尿障害も90%が改善すると報告があります。

『特発性正常圧水頭症』は、薬では治らない病気です。それ以外の認知症と同様の治療を受けても改善されません。それだけに、早期の診断が必要になってきます。

予防はどうしたら？ 受診する目安は？

危険因子としては、**年齢・高血圧・糖尿病・脂質異常症**が指摘されます。年齢を重ねることは予防のしようがないですが、生活習慣病である高血圧・糖尿病・脂質異常症は予防が出来ます。取り組める点があるとすれば、**生活習慣病を予防・治療・改善**しておく事です。

60歳以上で、歩くのが自覚的に不安定・周囲からみて不自然な歩行・集中できない・物忘れの進行・頻尿・排尿を我慢できない、といった症状がみられたら『特発性正常圧水頭症』の可能性がみられます。もし、自覚症状があるなら医療機関に御相談を。

特発性正常圧水頭症のチェックリスト

- 【歩行障害】 小刻みに歩く、すり足で足が上がらない
 足がひらきぎみに歩く
 不安定で転倒することがある

- 【認知症】 物忘れ
 一日中ぼんやりする、趣味などをしなくなった
 呼びかけに対して反応が遅くなった

- 【尿失禁】 尿意切迫(我慢できない)で失禁してしまう

- 【その他】 声が小さくなる、表情が乏しくなる

(上記の症状があったら、脳神経外科や神経内科などの専門医の受診を)

☆☆奥島病院マラソン部の活動だより☆☆

野球部の陰にかくれ細々と小じんまりと活動中のマラソン部です。今年は4月の『松野町桃源郷マラソン』に始まり5月の『八幡浜トレイルラン』そして、先日10月2日にありました『今治シティマラソン』へ参加してきました。

若手の20代！まだまだがんばる30代！？そして足腰怪しい50代？？将来有望の中学生で10キロコース・5キロコースへ挑戦しました。

結果は、全員完走し少しずつですが自己記録も更新中であります！！

なんと今回参加した部員の中から来年の『愛媛マラソン』に初参戦する勇士がいます。是非是非、皆様応援を宜しくお願いします。

【そして、部員も大募集中です！！走りきる達成感を共に感じ、その後はおいしいビールを飲みませんか？(笑)】

いつか、フルマラソンへチャレンジしたい野望を抱きつつ今年のマラソン部の活動報告でした。



平成23年度 職員旅行



当院は毎年1回の職員旅行があります。九州1泊旅行と広島日帰り旅行の2プランがありました。今回は、その中でも日帰り旅行にスポット当てて紹介します。

朝の8時に病院を出発し、『しまなみ海道』経路にて一路「広島県」へ。最初に、ゆり園にて花の香りを感じ日ごろの疲れを忘れ癒されてから、三次ワイナリーにてワインの試飲をして、BBQを食べて食後にオリジナルソフトクリームに舌鼓。最後に、りんご園にてりんご狩りを行いその場でパクリとおいしく頂きました。全体的に今回の日帰り旅行は食べる事がメインとなりましたが、参加者全員満足いく旅行を楽しめました。



☆☆奥島病院 野球部 だより☆☆

早いもので奥島病院の野球部も結成してから1年が経過しました。昨年度のシーズンは結局、1勝もできずに終わってしまいました…。

そして……新シーズンに突入してなんと!?第一試合目で!?初勝利を!?挙げることができました!!!! いやあ、長かったですねえ初勝利 (嬉泣)。

とまあ、今シーズンもすでに3試合を行いまして1勝2敗と負け越しておりますが…とりあえず目指せ勝率5割!!ということで今シーズンはせめて半分は勝ちたいと思います。



病院の耐震化工事に伴う 増改築工事のお知らせ



完成予想図(病院の裏手から見た様子です)

病院の耐震化工事と増築工事をお知らせいたします。

まず、病院の主な建築構造を説明しますと線路側から新館・旧館と2棟で建てております。これに、今回の工事で新たに棟ができますので3棟からなる病院になります。(以後、線路側から本館・旧館・新館と記述)

この度、奥島病院の老朽化が進んでおりますので耐震化工事を行うのと同時に旧館側の病棟リニューアル工事を行いたいと思います。工事期間はだいたい3年程度を予測しております。

まず、最初に現在の病院裏側にあります看護寮跡地・駐車場に地上4階建ての棟を新たに増築いたします。そちらに、仮設として旧館部分にある全ての機能を一時的に移します。その間に、旧館部分の耐震化工事を行うと共に病室の内装を改修いたします。

また、大きく改修を行う1階部分の主な変更点としまして、診察室が多くなり脳波室や心電図室を別の場所に移転する事により診察室前の待合スペースが増えます。そして、一般撮影・CT・MRI室の場所を一箇所にまとめ患者様の導線を分かりやすく致します。

次に、新館の2階部分に手術室を3階部分にリハビリ室を移築することにより、よりよい医療を提供できるように致します。

平成23年度 松山秋祭り

10月7日に道後温泉駅前にて松山秋祭りのみこしの鉢合わせがありました。当院は毎年この鉢合わせの患者さんを受け入れております。今年は、松山市の救急日とも重なり患者さんが多数になることが予測された為に職員をいつもより多く配置しましたが、怪我人が多く診察までに時間が掛かってしまった事を最初にお詫び申し上げます。

今回は、愛媛新聞社の記者の方が祭り当日に密着取材を行っておりまして、10月10日の新聞にて紹介していただきました。

今年は、怪我人は多かったですけど命に別状がある怪我が無かったので良かったです。今後も安心して祭りを楽しんでもらえるように毎年協力していきたいと思っております。

